

ブラジル政府及び連邦議会の皆様、外交団の皆様、日系社会の代表者の皆様及び御列席の皆様、こんばんは。

本日は、皆様をお迎えし、天皇誕生日祝賀レセプションを盛大に開催できますことを大変嬉しく思います。ご来臨いただいたことに心より感謝致します。

天皇陛下は、本年12月23日をもって満83歳になられますが、皇后陛下とともにお健やかで、公務に励まれております。

私は約半月前に駐ブラジル日本国大使として着任致しました。私は30年余りに亘り、主要な節々で外交官としてブラジル、中南米に関わる仕事をしてきました。特に、1995年の日伯修好100周年、1997年の天皇皇后両陛下のブラジル御訪問、2008年の日本人ブラジル移住100周年は忘れがたい出来事でした。そして、この度、ブラジルが新しい時代に向けて歩み始めている時に、駐ブラジル大使として在勤できることを大変嬉しく思っています。今後、ご参席の皆様の協力を得ながら、日伯関係を一層前進させて参りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

ご列席の皆様

2016年で最も強く記憶に残っていることとして、世界中の多くの人々が、リオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックを挙げることでしょう。

ブラジルは、様々な困難を克服して素晴らしい大会を開催しました。その成功を心よりお祝い申し上げます。私自身は東京でテレビを通じて観ていましたが、選手たちの活躍と共に、ブラジルの活力とホスピタリティに魅了されました。2020年の東京大会では、今年のリオの成功をしっかりと受け継ぎます。

ご列席の皆様

日本とブラジルの間には、伝統的友好協力関係と日系社会を通じた「特別な人的絆」が存在します。また、国際社会にあつて、両国は基本的価値と原則を共有する重要なパートナーです。

安倍総理は、リオデジャネイロ・オリンピックの閉会式に「アベ・マリオ」として登場したのを含め、2年間で2度ブラジルを訪問しました。10月には、テメル大統領が正式就任後2ヶ月足らずで日本を訪問されました。首脳レベルの強いイニシアティブの下、「戦略的グローバル・パートナーシップ」強化に向けて、政治、防衛、経済、科学技術、教育・文化・スポーツ交流など多岐にわ

(仮訳)

たる分野で、両国間の協力が今後一層の進展することが期待されます。そのために、私は皆様と協力して働けることを楽しみにしています。

なお、現在ブラジルでは約700社の日本企業がブラジルの将来性を信じて活動していますが、本日はその代表としてトヨタ、エプソン、NEC、ヤクルトの4社に製品を紹介頂いておりますので、是非ご覧ください。

最後に、天皇皇后両陛下のご健勝とご列席の皆様のご発展、日伯関係の更なる進展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございます。

(了)